

日本国際政治学会 2013 年度研究大会 共通論題・部会プログラム

※下記プログラムは、8 月末段階の暫定的なものであり、確定版ではないことをあらかじめご了承ください。

10 月 25 日(金)

受付開始: 12:00

午後の部会 (13:00~15:30)

部会1 世界の新秩序とロシア国家のアイデンティティ

司会 袴田茂樹 (新潟県立大学)

報告 下斗米伸夫 (法政大学)

「プーチンⅡの政策と課題」

東郷和彦 (京都産業大学)

「世界史の潮流の下における、日ロのアイデンティティの形成」

河東哲夫 (早稲田大学)

「ロシアの世界認識の特異性——その歴史との関連において」

討論 横手慎二 (慶應義塾大学)

宇山智彦 (北海道大学)

部会2 変容する地域安全保障共同体比較——OSCE、ASEAN、SCO

司会 大芝亮 (一橋大学)

報告 首藤もと子 (筑波大学)

「ASEAN の規範の制度化とガヴァナンス」

湯浅剛 (防衛研究所)

「上海協力機構——テロ対処・領土保全・経済協力をめぐる論理と実践」

中内政貴 (大阪大学)

「OSCE の役割の変遷——欧州における多層的安全保障共同体の中で」

討論 宮脇昇 (立命館大学)

大平剛 (北九州市立大学)

部会3 冷戦後20年の日本とアジア

司会 高原明生 (東京大学)

報告 宮城大蔵 (上智大学)

「冷戦後 20 年の日本外交」

大庭三枝（東京理科大学）

「アジアにおける制度化の進展と地域ガバナンス」

井上正也（香川大学）

「冷戦後の日中関係 20 年——日本外交の視点から」

討論 李鍾元（早稲田大学）

渡辺紫乃（埼玉大学）

部会4 日中韓三ヵ国における国内政治と対外関係のリンケージ

司会 高木誠一郎（日本国際問題研究所）

報告 加茂具樹（慶應義塾大学）

「体制の生き残り戦略と政策決定過程——豊かな権威主義国家中国の場合」

信田智人（国際大学）

「尖閣国有化と国内政治」

玄大松（韓国国民大学）

「韓国の国内政治と対外政策のリンケージ——領土問題を中心に」

討論 中西寛（京都大学）

木宮正史（東京大学）

部会5 自由論題部会1 「日本外交の課題」

司会・討論 菅英輝（京都外国語大学）

報告 池上萬奈（慶應義塾大学）

「二つの石油危機と日本の資源外交——日米関係、多国間協調、産油国関係」

渡邊浩崇（大阪大学）

「宇宙開発政策大綱(1978年)への道——日本宇宙政策における自主開発と対米協力」

張雲（新潟大学）

「アメリカと日本のインテリ層の中国台頭への認識に関する比較」

庄司貴由（二松學舎大学）

「村山内閣と『人道的な国際救援活動』——ルワンダ難民救援活動参加問題と外務省」

討論 村上友章（立命館大学）

●分科会セッション A（15:45～17:15）別掲

●分科会セッション B（17:30～19:30）別掲

10月26日(土)

受付開始: 9:00

午前の部会 (9:30~12:00)

部会6 「平和のための原子力」の国際関係史

司会・討論 土屋由香 (愛媛大学)

報告 樋口敏広 (ウィスコンシン州立大学マディソン校)

「原子力平和利用と環境放射能汚染問題——『ポスト通常科学』状況下の国際関係」

黒崎輝 (福島大学)

「冷戦下の日本の原子力開発と物理学者、1952-1955年」

市川浩 (広島大学)

「“東側”の原子力—旧ソ連邦における“原子力平和利用”開始の国内的・対外的要因」

友次晋介 (名古屋短期大学)

「冷戦・脱植民地化と英国の対中東原子力協力」

討論 武田悠 (日本原子力研究開発機構)

部会7 構成主義の前衛——グローバル・ガバナンス論の新地平

司会 多湖淳 (神戸大学)

報告 三浦聡 (名古屋大学)

「グローバル・ガバナリング——国連による『責任ある経営教育原則』イニシアティブ」

和田洋典 (青山学院大学)

「経済・金融ガバナンスにおける規範的階層性——なぜ中国は従順か」

勝間田弘 (金沢大学)

「規範と国際ステータス——いつ途上国は先進国を真似るのか？」

討論 河野勝 (早稲田大学)

部会8 新たな経済発展パラダイムの模索と国家の役割

司会 古城佳子 (東京大学)

報告 遠矢浩規 (早稲田大学)

「知的財産と収穫逡増の開発戦略」

山田敦 (一橋大学)

「新たな経済発展パラダイムの模索と国家の役割——米国のケース」

安原毅（南山大学）

「メキシコの開発政策——NAFTA から国際金融危機へ」

討論 出岡直也（慶應義塾大学）

飯田敬輔（東京大学）

部会9 ラウンド・テーブル:日本の国際政治学を考える——研究者は政策とどうかかわるべきか

モデレーター 渡邊昭夫（平和・安全保障研究所）

パネリスト 緒方貞子（国際協力機構）

北岡伸一（国際大学）

星野俊也（大阪大学）

土山實男（青山学院大学）

部会10 自由論題部会2「国家の建設と市民社会」

司会・討論 羽場久美子（青山学院大学）

報告 中野亜里（大東文化大学）

「ベトナムの民主化——資源開発をめぐるガバナンスと市民の活動」

中村健史（防衛大学校）

「国家建設におけるコンディショナリティー・アプローチの有効性——ボスニア・ヘルツェゴ
ビナを事例に」

澁谷朋樹（法政大学）

「『第四の波』としての『アラブの春』——近年の民主化に関する一考察」

熊谷奈緒子（国際大学）

「アジア女性基金の批判的解明——存在論的安全からのアプローチ」

討論 星野英一（琉球大学）

部会11 中国の台頭とアメリカのリバランシング戦略——日韓の比較から【日韓合同部会】

（使用言語：日本語）

司会 李鎬鐵（韓国国際政治学会会長）

酒井啓子（日本国際政治学会理事長）

報告 朴栄濬（国防大学校）

「均衡と抑止の隔たり——アメリカのアジア再均衡政策に対する韓国と日本の対応
比較」

曹良鉉（国立外交院）

「東アジアのパワー・バランス変化と日本外交」

西野純也（慶應義塾大学）

「北東アジア国際秩序の変動と日韓関係」

討論 朴昶建（国民大学校）

●分科会セッション C（13:30～15:10）別掲

【共通論題】 日本の国際政治学を考える——学問のあり方と教育のあり方

15:20～18:10 4階 国際会議室

司会 植木(川勝)千可子（早稲田大学）

パネリスト 百瀬宏（津田塾大学）

「教学体験の回顧によせて」

竹中千春（立教大学）

「境界を越える国際政治学——ジェンダー、サバルタン、グローバル」

潘亮（筑波大学）

「日本の国際政治学の『グローバル化』——研究と教育の両面から」

宮下明聡（東京国際大学）

「理論の構築と日本の国際政治学教育——米国との比較から」

討論者 猪口孝（新潟県立大学）

土佐弘之（神戸大学）

総会（18:10～18:40）4階 国際会議室

懇親会（19:00～20:30）メインホール B

10月27日(日)

受付開始: 9:00

●分科会セッション D（9:30～11:00）別掲

●分科会セッション E（11:15～12:45）別掲

午後の部会（14:00～16:30）

部会12 オバマ政権の対外戦略——国際システムと内政

司会 山本吉宣(新潟県立大学)

報告 納家政嗣(上智大学)

「国際システムの変化とオバマ政権の対外政策」

神谷万丈(防衛大学校)

「オバマ政権の安全保障政策の展開と日本」

中山俊宏(青山学院大学)

「オバマ外交における内政要因の検証」

討論 梅本哲也(静岡県立大学)

部会13 東アジア——紛争の構図と平和の条件【市民公開講座を兼ねる】

司会 黒田俊郎(新潟県立大学)

報告 真水康樹(新潟大学)

「北京からのまなざしと東アジアの平和」

遠藤誠治(成蹊大学)

「沖縄からのまなざしと東アジアの平和」

佐渡紀子(広島修道大学)

「広島からのまなざしと東アジアの平和——核兵器の役割に着目して」

討論 石田淳(東京大学)

佐々木寛(新潟国際情報大学)

部会14 ヨーロッパのアジア・中東をみる眼

司会 鈴木均(新潟県立大学)

報告 小川浩之(東京大学)

「イギリス対外政策におけるアジア太平洋——マクミランのコモンウェルス歴訪(1958年)再考」

板橋拓己(成蹊大学)

「ドイツとイスラエルの『和解』——道義と権力政治のはざまで」

宮下雄一郎(松山大学)

「戦後フランス外交と日本、1945-1952年——第二次世界大戦の論理と冷戦の論理のはざまで」

討論 遠藤乾(北海道大学)

中村英俊(早稲田大学)

部会15 第二次大戦後の賠償問題と戦後秩序形成の新視角

司会 波多野澄雄（ハーバード大学）

報告 川喜田敦子（中央大学）

「西ドイツにおける賠償と復興」

浅野豊美（中京大学）

「脱植民地化をめぐる帝國的国際政治経済史としての賠償問題——重層的アジア経済協力レジームをめぐる日米アジア特殊関係の展開」

やまだあつし（名古屋市立大学）

「日華関係と賠償・経済協力——植民地人脈・物流の復活と米台日関係」

討論 井口治夫（名古屋大学）

中田瑞穂（明治学院大学）

部会16 多国間交渉の政治学

司会 赤根谷達雄（筑波大学）

報告 大矢根聡（同志社大学）

「WTO 交渉におけるイシュー・リンケージと規範リンケージ」

芝井清久（統計数理研究所）

「安全保障領域における多国間交渉の意義」

毛利勝彦（国際基督教大学）

「地球環境交渉の現在・過去・未来」

討論 鈴木基史（京都大学）

内記香子（大阪大学）

日本国際政治学会 2013 年度研究大会分科会プログラム

◆10月25日(金)

分科会セッションA (15:45~17:15)

A-1 欧州国際政治史・欧州研究 I 責任者 細谷雄一 (慶應義塾大学)

テーマ 地中海をめぐる南欧諸国の中の国際関係：冷戦から EU へ

司会 細田晴子 (日本大学)

報告 坂井一成 (神戸大学)

「EU の地中海政策におけるフランス外交の関与と課題」

西脇靖洋 (上智大学)

「地中海関係のなかのポルトガル・モロッコ『欧州化』される危機意識」

討論 八十田博人 (共立女子大学)

山本健 (西南学院大学)

A-2 アフリカ 責任者 遠藤貢 (東京大学)

テーマ フランスの対アフリカ政策の展開

司会 遠藤貢 (東京大学)

報告 加茂省三 (名城大学)

「ド・ゴールによるフランスのチャド介入—フォカール文書の調査から—」

中村宏毅 (武蔵野大学)

「昨今のサヘル情勢及びフランス軍の介入」

討論 佐藤章 (日本貿易振興機構アジア経済研究所)

A-3 理論と方法 I 責任者 浜中新吾 (山形大学)

テーマ 天然資源と知的財産権の国際的管理

司会 浜中新吾 (山形大学)

報告 安部雅人 (東北大学)

「国際レジームと重層的システムの成立要因にみる国際資源開発」

岩波由香里 (関西外国語大学)

「条約の規制のレベルと参加国数、そして参加国の遵守行動をめぐるゲーム論的考察」

討論 栗栖薫子 (神戸大学)

石黒馨 (神戸大学)

A-4 トランスナショナル I 責任者 石井由香 (静岡県立大学)

テーマ 自由論題

司会 石井由香 (静岡県立大学)

報告 八木孝之 (早稲田大学)

「国際レジームにおけるアカウンタビリティ—対話としてのアカウンタビリティ—」

- 中山裕美 (京都大学)
「国境管理問題を扱う地域的ガバナンスの勃興」
- 和田大樹 (清和大学)
「アルカイダによるグローバルジハードとそのトランスナショナルネットワーク」
- 討論 勝間田弘 (金沢大学)
石井由香 (静岡県立大学)
宮坂直史 (防衛大学校)

分科会セッション B (17:30~19:30)

B-1 東アジア I 責任者 松田康博 (東京大学)

- テーマ 現代台湾の対外関係
- 司会 浅野亮 (同志社大学)
- 報告 清水麗 (桐蔭横浜大学)
「1960年代日華関係における外交と宣伝」
松本はる香 (日本貿易振興機構アジア経済研究所)
「蔣介石の『台湾海峡危機』」
- 討論 井上正也 (香川大学)
佐橋亮 (神奈川大学)

B-2 理論と方法 II 責任者 浜中新吾 (山形大学)

- テーマ 国際関係論における実験アプローチ
- 司会 山本和也(早稲田大学)
- 報告 古城佳子(東京大学)
「TPP (環太平洋経済連携協定) をめぐる国内の選好形成」
泉川泰博(中央大学)
「日本の武力行使に関する選好：選択実験による尖閣諸島有事シミュレーション」
河野勝(早稲田大学)
「日本における観衆費用の実証分析」
- 討論 山本吉宣(新潟県立大学)

B-3 国際交流／東南アジア 責任者 都丸潤子 (早稲田大学) ・永井史男 (大阪市立大学)

- テーマ 自由論題
- 司会 永井史男 (大阪市立大学)
- 報告 福田忠弘 (鹿児島県立短期大学)
「原耕による南洋漁場開拓事業とその影響」
山田朋美 (津田塾大学)
「戦間期におけるアイルランド人のアジア認識—聖コロンバン会 (The Missionary Society of St Columban) の中国・朝鮮宣教を通して—」

井上浩子（日本学術振興会/早稲田大学）

「東ティモールの法文化と司法制度構築：国際文化論から見た国家構築」

討論 都丸潤子（早稲田大学）

古泉達矢（金沢大学）

山田満（早稲田大学）

B-4 国際政治経済 I

責任者 毛利勝彦（国際基督教大学）

テーマ 国際政治経済の諸問題

司会 毛利勝彦（国際基督教大学）

報告 松村尚子（一橋大学/ライス大学）

「WTO 紛争処理における裁定の履行—Third Party が与える影響—」

鈴木弘隆

「開発と格差—レント・シーキング経済とその政治課題—」

小野寺広幸（中央大学）

「不均等複合発展と国際関係—マルクス主義による『インターナショナルなもの』をめぐる論争—」

田巻宏将（群馬県立前橋南高校）

「日本の国際保健政策の変容」

討論 末内啓子（明治学院大学）

星野英一（琉球大学）

B-5 トランスナショナルII

責任者 石井由香（静岡県立大学）

テーマ 北東アジアをめぐる国家・地域主義・^{ボーダー}境界

司会 池 炫周 直美（北海道大学）

報告 福原裕二（島根県立大学）

「領土政策と漁業問題の衝突？—北東アジアの海の実態から—」

川島真（東京大学）

「中国をとりまく『境界』と『国家』—金門島と尖閣諸島を事例に—」

三村光弘（環日本海経済研究所）

「北東アジアにおける経済交流と『境界』」

討論 岩下明裕（北海道大学）

川久保文紀（中央学院大学）

B-6 平和研究 I

責任者 前田幸男（大阪経済法科大学）

テーマ 戦間期の思想のアクチュアリティ

司会 前田幸男（大阪経済法科大学）

報告 貝賀早希子（キングス・カレッジ・ロンドン）

「戦争による平和維持：ブライス・グループの『戦争回避のための提案』における国際連盟構想、1914—1915」

清水耕介（龍谷大学）

「危機の20年と自由主義：思想と日常性とを手がかりに」
討論 遠藤誠治（成蹊大学）
小林誠（お茶の水女子大学）

◆10月26日（土）

分科会セッションC（13：30～15：10）

C-1 日本外交史 I 責任者 庄司潤一郎（防衛研究所）

テーマ 日本降伏後における引揚と復員
司会 黒沢文貴（東京女子大学）
報告 増田弘（東洋英和女学院大学）
「日本降伏後における南方軍の復員過程」
加藤聖文（国文学研究資料館）
「満洲国の崩壊と残留日本人引揚問題」
討論 浜井和史（外交史料館）

C-2 欧州国際政治史・欧州研究II 責任者 細谷雄一（慶應義塾大学）

テーマ 自由論題
司会 細谷雄一（慶應義塾大学）
報告 安田佳代（関西外国語大学）
「世界保健機関の設立と主要連合国内戦後の国際安全保障をめぐる対立と妥協一」
坂牧昇（早稲田大学）
「ジュネーブサミットへ向けたイギリス政府外交政策決定過程—ドイツ問題と『中立主義』—」
新川匠郎（上智大学）
「ヨーロッパの小国、マルタとリヒテンシュタイン—二大政党の小国的特徴に基づく協調メカニズムを探る—」
討論 細谷雄一（慶應義塾大学）
倉科一希（広島市立大学）
小久保康之（東洋英和女学院大学）

C-3 ロシア東欧 責任者 中野潤三（鈴鹿国際大学）

テーマ ソ連邦解体と未承認国家
司会 中野潤三（鈴鹿国際大学）
報告 松寄英也（上智大学）
「ソ連解体期におけるロシア系住民居住地域の分離独立—『労働集団』による沿ドニエス
トル共和国建設の試み（1989-1992）—」
討論 六鹿茂夫（静岡県立大学）
松里公孝（北海道大学）

C-4 東アジアⅡ

責任者 松田康博（東京大学）

テーマ 東アジア主要国間の国際関係

司会 西野純也（慶応義塾大学）

報告 崔正勳（立命館大学）

「冷戦崩壊以後における米朝間の緊張形成要因についての考察—ディフェンシブ・リアリズムの観点から—」

黄偉修（早稲田大学）

「日本の対中国・対台湾関係の変容—2000年代を中心に—」

討論 道下徳成（政策研究大学）

加茂具樹（慶應義塾大学）

C-5 中東

責任者 末近浩太（立命館大学）

テーマ 中東における覇権とパワーシフト

司会 末近浩太（立命館大学）

報告 橋本力（アベリストウィス大学）

「インテリジェンスから見る中東冷戦史—中東におけるイギリスの反共活動と中東秘密警察の発展—」

近藤重人（慶應義塾大学）

「湾岸アラブ産油国の対パレスチナ政策と石油—サウディアラビア、クウェートを事例に、2000～2012年」

溝渕正季（ハーバード大学）

「冷戦終結以降の中東における地域秩序の変遷—『アメリカの覇権』の趨勢をめぐって—」

討論 松永泰行（東京外国語大学）

C-6 安全保障Ⅰ

責任者 福田毅（国立国会図書館）

テーマ 宇宙の軍事利用

司会 福田毅（国立国会図書館）

報告 橋本昌史（一橋大学）

「アメリカの商業リモートセンシング政策 外交・安全保障へのインパクト」

福島康仁（防衛研究所）

「戦闘作戦における宇宙利用の活発化とその意義 1990年代以降の米国における議論・政策・実行」

討論 鈴木一人（北海道大学）

C-7 国際政治経済Ⅱ

責任者 毛利勝彦（国際基督教大学）

テーマ 国際政治経済におけるアイデアの展開—開発協力概念の解釈、競合、受容

司会 遠藤貢（東京大学）

報告 片柳真理（JICA 研究所）

「人権に基づく開発アプローチ—解釈の多様性を問う—」

小川裕子（東海大学）
「規範理論の意義と課題—貧困規範と成長規範の競合—」
岡部恭宜（JICA 研究所）
「なぜ国家は国際ボランティア事業を行うのか—青年海外協力隊の創設—」
討論 大矢根聡（同志社大学）
武内進一（日本貿易振興機構アジア経済研究所）

C-8 若手研究者・院生研究会 責任者 安高啓朗（立命館大学）
テーマ 主権国家とシチズンシップ：境界線をめぐるポリティクス
司会 池上大祐（福岡大学）
報告 加藤絢子（九州大学）
「日本統治下のサハリン先住民—戦前・戦後における法的地位の変遷—」
宮井健志（北海道大学）
「未完の国民国家？—移民管理における民主的正統性の『ねじれ』—」
須永修枝（東京大学）
「『崩壊国家』とシチズンシップ」
討論 柄谷利恵子（関西大学）
望月克哉（東洋英和女学院大学）

C-9 環境 I 責任者 阪口功（学習院大学）
テーマ 気候変動ガバナンスの多層構造と相互作用
司会 阪口功（学習院大学）
報告 舛方周一郎（上智大学）
「新興国ブラジルの気候変動政策：多層ガバナンスの構図と国内統治システムの課題」
河越真帆（神田外語大学）
「国際航空分野と地球温暖化対策」
田村堅太郎（地球環境戦略研究機関）
「Interplay Management for Increasing the Level of Climate Change Mitigation Efforts: Exploring Synergies between the Climate Regime and Other Regimes」
討論 市川颯（関西学院大学）
臼井陽一郎（新潟国際情報大学）

◆10月27日（日）

分科会セッション D（09：30～11：00）

D-1 日本外交史 II 責任者 庄司潤一郎（防衛研究所）
テーマ 自由論題（戦前・戦中）
司会 庄司潤一郎（防衛研究所）
報告 畑野勇（後藤・安田記念東京都市研究所）

「『1935, 6年の危機』の発現と帰結—危機管理と対応の観点から見た軍縮離脱期の日本外交と軍事—」

野村佳正 (防衛大学校)

「『大東亜共栄圏』の成立—軍事作戦と占領地軍政の相互作用—」

長谷川怜 (学習院大学)

「満洲産業建設学徒研究団の派遣と満洲経営」

討論 等松春夫 (防衛大学校)

D-2 理論と方法Ⅲ 責任者 浜中新吾 (山形大学)

テーマ 質的分析における手法と論理の発展と多様化：学説史、分析の射程と応用可能性、そして限界

司会 岡部恭宜 (JICA 研究所)

報告 今井真士 (日本学術振興会)

「権威主義体制の動的過程を歴史的制度論から捉え直す：制度の『進化』と体制の変容」
網谷龍介 (津田塾大学)

「マクロ変動の類型化からメソ過程の変数化へ：ヨーロッパ政治研究における歴史の扱い方について」

西川賢 (津田塾大学)

「定性的手法の発展と応用：過程追跡と Multi-Method Research を中心に」

討論 岡部恭宜 (JICA 研究所)

佐々田博教 (北海道大学)

D-3 政策決定論 責任者 上村直樹 (南山大学)

テーマ 自由論題

司会 上村直樹 (南山大学)

報告 金孝淑 (関西外国語大学)

「ミレニアム開発目標と開発援助の政策転換：拒否権プレイヤー理論を応用した日韓 ODA 政策の比較研究」

増永真 (文京学院大学)

「リアリズムと複合的相互依存関係が交錯する中での『米中経済・戦略対話』」

討論 藤田泰昌 (長崎大学)

滝田賢治 (中央大学)

D-4 国連研究 責任者 山田哲也 (南山大学)

テーマ 自由論題

司会 山田哲也 (南山大学)

報告 佐藤智美 (日本安全保障・危機管理学会)

「国際捜索救助チームと災害救助犬の有用性—阪神・淡路大震災と東日本大震災を事例として—」

志村真弓 (東京大学)

「国際規範形成過程における主体の立場の相違と解釈の競合—『保護する責任』を事例として—」

豊田紳（早稲田大学）

「ジェンダー主流化にみる（リベラル）平和構築活動の効果—ジェンダー平等に関する東ティモール市民の意識変化—」

討論 山田哲也（南山大学）

D-5 環境Ⅱ 責任者 阪口功（学習院大学）

テーマ 国際漁業資源ガバナンスと多国間交渉、レジームの有効性

司会 亀山康子（国立環境研究所）

報告 阪口功（学習院大学）

「多国間漁業交渉モデルの構築」

石井敦（東北大学）・太田宏（早稲田大学）・阪口功（学習院大学）

「国際漁業資源をめぐる交渉理論の検証：クロマグロ資源の管理を事例として」

大久保彩子（東海大学）

「地域漁業管理レジームの有効性評価：南極海漁業を事例として」

討論 信夫隆司（日本大学）

亀山康子（国立環境研究所）

分科会セッションD・E（9：30～12：45）

D・E-1 東アジア国際政治史 責任者 川島真（東京大学）

テーマ 19世紀末・20世紀初頭の東アジアの国際政治史

司会 川島真（東京大学）

報告 原田明利沙（東京大学）

「華南権益をめぐる近代中仏外交—仏領インドシナ形成との関連で—」

阿曾沼春菜（京都大学）

「20世紀転換期の東アジアとイギリスの国際秩序観—不平等条約改正問題を手掛かりに—」

大井知範（明治大学）

「第一次世界大戦前の東アジアにおける『協商の海』—独逸同盟海軍から見た東アジア国際秩序—」

討論 田嶋信雄（成城大学）

千葉功（学習院大学）

青山治世（亜細亜大学）

麻田雅文（北海道大学）

D・E-2 平和研究Ⅱ・Ⅲ 責任者 前田幸男（大阪経済法科大学）

テーマ（平和研究Ⅱ） 難民／境界／政治的共同体

司会 前田幸男 (大阪経済法科大学)
報告 進藤令子 (東京大学)
「『内』と『外』の境界線についての考察—東日本大震災の被災者をめぐる『難民』という言説から—」
討論 岩下明裕 (北海道大学)
柄谷利恵子 (関西大学)

テーマ (平和研究Ⅲ) Political Violence in Peace Building

司会 前田幸男 (大阪経済法科大学)
報告 Tynyshtyk Mailibayeva (Hitotsubashi University)
「Interethnic Political Dialogue: Institutionalized or Not」
田中 (坂部) 有佳子 (日本学術振興会)
「紛争後社会における選挙暴力—2002年以降のシエラレオネの事例を中心に—」
討論 Giorgio Shani (International Christian University)
岡野英之 (日本学術振興会)

分科会セッション E (11:15~12:45)

E-1 日本外交史Ⅲ 責任者 庄司潤一郎 (防衛研究所)

テーマ 自由論題 (戦後)
司会 庄司潤一郎 (防衛研究所)
報告 池宮城陽子 (慶應義塾大学)
「対日講和と沖縄に対する領土主権問題、1950~1951」
石田訓夫 (早稲田大学)
「1956年中東危機と日本外交における中東政策の構造転換」
白鳥潤一郎 (慶應義塾大学)
「高度経済成長期における外務省機構改革—『戦後処理』からの脱却と『政策企画』機能強化の模索—」
討論 河野康子 (法政大学)

E-2 アメリカ政治外交 責任者 青野利彦 (一橋大学)

テーマ 国際秩序変容期のアメリカ外交
司会 青野利彦 (一橋大学)
報告 肥田進 (名城大学)
「国連憲章第51条の創設過程から見た集団的自衛権の意味とダレスの関わり」
吉留公太 (神奈川大学)
「ジョージ H.W. ブッシュ政権期の対ヨーロッパ戦略と NATO 拡大構想」
討論 小野沢透 (京都大学)
菅英輝 (京都外国語大学)

E-3 ラテンアメリカ 責任者 松本八重子（亜細亜大学）

テーマ ラテンアメリカにおける政党政治、ペルーとメキシコを中心に

司会 松本八重子（亜細亜大学）

報告 村上勇介（京都大学）

「ペルーの政党政治—民主化以降の展開—」

渡辺暁（山梨大学）

「メキシコの民主主義の現状—PRIの政権復帰は民主主義の深化か後退か—」

討論 大串和雄（東京大学）

E-4 国際統合 責任者 山本直（北九州市立大学）

テーマ サブ・リージョナリズムの国際政治学—ビッグ・パワーと地域組織の境界ガバナンス

司会 柑本英雄（弘前大学）

報告 五十嵐誠一（千葉大学）

「サブ・リージョナリズムの国際政治理論」

佐渡友哲（日本大学）

「ASEAN・中国境界領域のサブ・リージョナリズム—拡大メコン圏を事例に」

高橋和（山形大学）

「EU・ロシア境界領域のサブ・リージョナリズム」

討論 臼井陽一郎（新潟国際情報大学）

中山賢司（早稲田大学）

E-5 安全保障II 責任者 福田毅（国立国会図書館）

テーマ ロシアの安全保障政策

司会 加藤美保子（北海道大学）

報告 長谷直哉（相山女学園大学）

「拡張するロシアのエネルギー安全保障概念—供給側の論理と認識」

山添博史（防衛研究所）

「ロシアの対中国安全保障関係」

討論 伊藤庄一（日本エネルギー経済研究所）

加藤美保子（北海道大学）

E-6 ジェンダー／トランスナショナル 責任者 田村慶子（北九州市立大学）

テーマ トランスナショナルなアクターと人権保障

司会 戸田真紀子（京都女子大学）

報告 大内勇也（東京大学）

「人権条約の形成過程における法律家コミュニティの政治的役割—欧州人権条約を事例として—」

大野聖良（お茶の水女子大学）

「『人権』と『安全』の狭間にある日本の人身取引問題—ジェンダー化されたセキュリテ

討論

「問題として」
中村文子（東北大学）